

第1講

防衛ジャーナリスト
半田滋さんに聞く――

防衛費倍増の目的は国を守ることに よりも、アメリカ製兵器爆買いの 失政を覆い隠すことにあります。

日本の自衛隊の防衛力は 世界でもトップレベル。

今、政府や自民党はロシアのウクライナ侵攻を背景に、「国土を守り、国民の安全を高めるためには防衛費倍増の必要がある」と主張しています。しかし実は、現状でも日本の自衛隊は、防衛という点においては世界トップレベルの力を持っています。

そもそも、年間の防衛費約5兆円（GDP比約1%）は世界第9位の規模であって、決して少ないとはいえません。仮にこれをGDP比2%に倍増して約10兆円とすれば、アメリカ、中国に次ぐ第3位となり、日本は4位以下のインドや英国、そしてロシアを大きく引き離す軍事大国になります。

金額だけではありません。一般的に、陸軍の戦力をはかるときにもっとも重要なのは兵の数ですが、陸上自衛隊の隊員数は現在約14万人。これは、今ロシアに抗戦しているウク

ライナ陸軍の兵員数を上回ります。しかも、所有している武器の質はウクライナ軍よりもはるかに強力です。

空海軍については主要装備が目安になります。海上自衛隊は今、護衛艦47隻、潜水艦22隻、哨戒機などの作戦用航空機176機を保有しています。航空自衛隊は作戦用航空機428機、うち戦闘機が318機。これは、イギリスやフランス、ドイツなどヨーロッパ諸国にもひけを取らないレベルです。

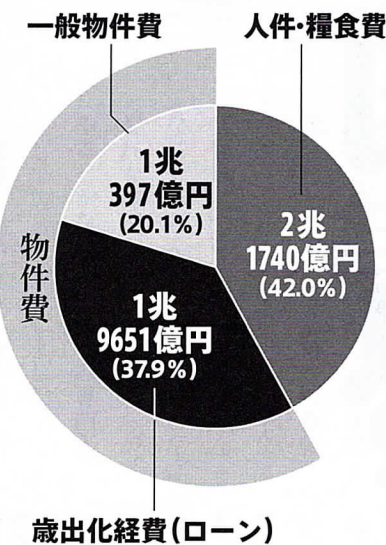
さらに、自衛隊は日米安保条約のもと、他どの国の軍隊よりも多く米軍との共同訓練の経験を積んできています。あらゆる事態を想定して、米軍の力を借りながら敵を跳ね返すための訓練を何度となく繰り返してきた。結果として、「国土を守る」という点においては世界有数の軍事力を持っています。

それでも日本を守るのに足りないと考えるのであれば、それは70年かけて築き上げてきた自衛隊の実力を否定するようなものです。

対GDP比2%になれば 世界3位の軍事大国に。

順位	2021年の軍事費 (億ドル)	GDP比 (%)
1	米国 8,006	3.5
2	中国 2,933	1.7
3	インド 765	2.7
4	英国 683	2.2
5	ロシア 659	4.1
6	フランス 566	1.9
7	ドイツ 560	1.3
8	サウジアラビア 555	6.6
9	日本 541	1.1
10	韓国 502	2.8

ストックホルム国際平和研究所の資料をもとに編集部作成。



防衛費5兆1788億円の
約38%がローンの支払い。

「人件・糧食費」……隊員の給与や退職金、営内での食費など。

「物件費」……装備品の調達・修理・整備、油の購入、教育訓練、施設整備、光熱水料、技術研究開発、基地周辺対策や在日米軍駐留経費などに使われる。物件費のうち「歳出化経費」は21年度以前の契約に基づき22年度に支払われる経費。

令和4年版「防衛白書」をもとに編集部作成。



はんだ・しげる
1955年、栃木県生まれ。
元東京新聞論説兼編集委員。
著書に『変貌する日本の安全保障』(河立社)ほか多数。